

# 新しい学校の教育環境の整備のあり方について

## 1 第3回新しい学校づくり鳴門市地域協議会における論点整理

- (1) 日 時 平成19年6月27日(水) 午後7時から午後9時まで
- (2) 場 所 鳴門第一高校 マーケティング室
- (3) 議 題 ・新しい学校の教育の基本方針について  
・新しい学校の設置学科等について

### 新しい高校のあり方等について

鳴門市の子どもが「本当に行きたい」と思う高校にしなければならない。  
新しい高校は、徹底的に地域と密着したモデルケースとなるようにしてほしい。  
体育科にすばらしい人材を集めるため、全県から生徒を募集すべきと考える。

### 学科・コース等について

国及び地方において観光振興の重要性が叫ばれており、鳴門には多くの観光資源がある。  
新しい高校に、観光科があってもよいのではないか。  
徳島県は、観光資源では他県に負けていないが、うまく活かせていないところがある。  
観光資源を活かすための勉強も必要だと思う。

### 教育システム等について

体育科の中には、推薦入試ではなく一般入試で大学へ進学し、さらに学びたい生徒もいると思う。その様な希望に応えられる教育システムが必要になってくると思う。  
体育科の出口保障についていろいろと配慮し、総合選択科目で対応するとの案が出されていることはよいと思う。  
「体育科の生徒とともに部活動を頑張りたい」という総合学科の生徒もいると思うので、総合選択制を利用して体育科の科目もとれる工夫をしてほしい。  
体育科の生徒が怪我等で競技を続けられなくなった場合でも、夢を持ち安心して高校生活を送ることができるシステムを考えていく必要がある。  
体育科をつくる時には、栄養学など専門的な分野の指導も大切になってくると思う。  
新しい学校の特色のひとつとして、必要な予算をつけて、全国的に優秀な指導者に授業や部活動の指導をしてもらってはどうか。  
子ども達にとっては、指導者が大事だと思う。人事異動もあるが、必要な先生をずっと確保できるような配慮をしてほしい。

## 地域連携・学校間連携について

教員だけでなく、専門的な知識や技能を持った地域の人材を指導者として活用する方法も考えてほしい。

学校に特色をもたせるためには、大学や専門学校などと連携を図りながら高校の教育をより充実させていくことも必要である。

大学にとっても地元と連携していくということが課題となっており、鳴門市の小・中学校だけではなく、高校とも連携を図っていきたいと考えている。

鳴門教育大学のラグビー部やハンドボール部の部員が、鳴門高校の部活動の指導を手伝っている。部活動の面でも高大連携ができるのではないかな。

他の専門高校と連携して資格取得ができる工夫をしてほしい。

## その他

再編の時期については、地域協議会でよく検討すべきと思うが、できるだけ早い時期に再編を進めてほしい。

大事な2つの高校が1つになるのであるから、素晴らしい学校にしていきたい。そのためには、ある程度の予算措置も必要となると思う。

体育科を設置した場合には、基礎体力をつけるため、トレーニングルームは絶対必要である。

鳴門市内には民間アパートもたくさんあり、それを利用することも1つの方法であるが、寄宿舍を設置し、指導員が子どもたちを見守っていくことを考えてはどうか。

体育科を設置した場合には、名西高校芸術科のように前期選抜で100%とるなど、入試制度を工夫することも必要である。

## 2 教育環境の整備のあり方について

- (1) 学校規模について
- (2) 必要な教育施設について
- (3) 再編のスケジュールについて